

あ…マスターが帰ってきた…

ちよつと…あの…

しょ、少々お待ちくださいませつ…

はあ…はあ…

マスター…お帰りなさいませ…

今日もお仕事お疲れ様でした。

朝から晩まで…お仕事大変でしたね…

それでは…お靴を脱いでください…

そして…スーツを…お貸しください。

ん…しょ。

よい…しょと。

ふう…

それでは…あの…マスター、

ご飯にしますか？

それとも…お風呂にしますか？

…と言いたいところ…なのですが…
ん…あの…えつと…

そのお…

大変…申し上げづらい…のですが…

すみません…

お料理もお風呂も…

まだ全然ご用意ができていなんです…

あの…

用意していたオムライスは…

こげこげになつてしまいましたし…

沸かしていたお風呂は…

栓が抜けていて…

最初からやり直しになつてしまいました…

というのも…今日のお昼…

お掃除中にハプニングが起きてしまいました…

あの…その…

うう…マスターがお仕事を頑張つて…

家に帰ってきたのに…

私…なにもできていなんです…

私…ダメダメですよね…

家庭用アンドロイドは…マスターの生活を…

少しでも楽にできるように存在しているのに…

常に完璧でなければいけないはずなのに…

私…ダメダメでポンコツな…

アンドロイドなんです…

マスター…どうか私のことを叱つてください…

…

うう…

どうして…頭をなでるのですか…?

どうしていつも…ダメダメな私のことを

叱つてくれないんですか…?

どうして…私がどんなミスを犯しても…

マスターは…いつも笑つて…

よしよし…と慰めてくださるのでですか…?

うう…

…マスターは優しすぎるんです…

私は…家庭用アンドロイドなので…

ミスをしてはいけないです…

完璧じやなければ…ゆるされないんです…

私…どうして…いつも…

何事もうまく行かないのか…

考えてみたんです…

恐らくですが…

自分に自信がない…

ことが原因なのではないか…

…と思うんです…

だからこそ…失敗するたびに…

次もなにかミスを犯して

しまうんじゃないかな…

と思って…怖くなってしまうんです…

そして…何事にたいしても…

受け身になってしまって…

内気になってしまって…

だから…こんな…地味で…

引っ込み思案な性格に…

なつてしまつたんだと思うんですけど…

でも…でも…

こんなのは…本当の私じゃないんですけど…

私は…感情表現が苦手だから…

いつも無表情だから…

マスターは私が何を考えているのかわかりづらい…と

思っているかもしません…

でも私…心の中では…

マスターが…私をこのおうちに迎えてくださつて

本当にやかた…と思つているんです。

いつもニコニコして…私のことを優しく見守つてくれるマスターと一緒に生活ができて…し…幸せだな…と思つていますし…

これからもマスターと一緒に…ずっと…楽しく暮らせたらな…と思つているんです。

だからこそ、もつと自信をつけて…

もつと…マスターのお役に立ちたい…

マスターの期待に応えたいって…思つているんです。

うう…

…で…なんですが…

その…

少し…見ていただきたいものがあるんです…

少々お待ちください…

少し…タブレットを操作しますね…

えーっと…

ここをクリックして…

えーっと…これかな…

あ…あつたあつた…

その…あの…

これを…見てください。

私はアンドロイドですので…

様々な機能を…インストールすることができるんです。

私はまだ…この機能を使ったことがないんですけども…

アンドロイドが持っている固有の性格は…そのままにして…

追加コンテンツとして…

一時的に機能をインストールすることができるんです…

そして…この「本当の自分をさらけ出す」…といったソフトを

インストールしてみようかなって…思うんです。

このソフトの説明を読むと…

どうやらインストールをすることです…

一時的に…ではありますが…

自分に自信がもてたり…

いままでより…何ごとにも…

積極的になれたり…するみたいです。

受け身で…引っ込み思案な私を…

少しは克服することができるんじやないか…と思うんです。

これをきっかけにして…

今まで以上に…マスターの気持ちに…

応えることができる…と思うんです…

マスター…一度インストールしてみても…

よろしいでしようか…?

…

わかりました…ありがとうございます。

インストール…してみますね…

どれくらいの効果があるのかわからないので…

少し…怖いですが…

決して体に害があるものではないので…

大丈夫だと…思います…

でも…そろそろ…

自分から前に進まないといけない…

と思うんです…

これを…こうして…

少々お待ちください…

えーと…これかな?

すう…はあ…

緊張します…

…いきますよ…

クリックをして…

インストールを…開始…

…

あ…

あつ…

ん…

マ…マスターあー…

はあ…はあ…

お…終わりました…

…ソフト…のインストールが…

完了いたしました…

体が…なんだか…熱い…

視界が…ぼやけて…

心地いい感覚です…

ふふ…

体の奥がほてつていて…

なんだか…きゅんきゅん…しています。

今までに経験したことがないような…

不思議な感覚です…

なんで…体が熱くなっているのでしょうか…

もういちど…ソフトを確認してみます。

…あれ…

このソフト…

説明欄に小さく「びやく効果あり」って書いてあります…

びやく…効果…?

びやく…ってなんでしょう…

まあ…よくわかりませんが…

…ふう…

…ますたあ…

ふふ…

あ、マスターだ。

ふふ…ま・す・た・あ…

ね…マスター…

もつと…もつと…

近づいてくださいよ…。

マスター…

あの お…

えーと お…

アイリ…

ずっとと言いたかったことがあるんですよ…

アイリは…

実は…マスターのことが…実は…

ふふう…言つちやおつかなあ…

どうしようかなあ…

アイリ…実は…マスターのことがあ…

だーーーい好き…なんですよ…！

今までずっとお…

恥ずかしくてえ…

言えなかつたんですけど…

アイリは…優しくて頼りがいのある…

マスターのことがあ…

好きで好きで…大好きでえ…

たまらなかつたんですう…

アイリがいっぱい失敗しても…

笑顔で慰めてくれる…

そんなマスターのことが好きなんですね…

アイリが内氣で…

自分に自信が無くてえ…

地味で引っ込み思案でえ…

ダメダメなアンドロイドなのにい…

いつも…「そのままでいいんだよ」

「可愛いよ」って言つてくれる

マスターのことが大好きなんですう…

でも「可愛いよ」だなんて言葉…

いつも何気なくアイリに言いますけど…

すっごく思はせぶり…ですからね…

こんなことになつたのは…

マスターのせいなんだから…

うう…ずっと言いたかつたんですよ…

ああ…もっと体が熱くなつてきた…

好き好き好き好き好き好き好き好き…

マスター大好き大好き大好き大好き…

うう…好きい…

アイリ…マスターと

ちゅーしたい…

キス…したい…よお…

だめ…ですか？

嫌…じやないですか…？

嫌じやないんですね…ふふん…

じやあ…

目をつむってください

…ますたあ…

ちゅ…

ますた…あ

キス…しちゃいました。

初めてのキスは…

なんだか…あまい味でした…

乙女の初めてを捧げたんですから…

責任…とつてくださいね…

ふふ…ま・す・た・あ…

…ん…？

ますたあ……？

マスターの下あ……なんだか……

大きくなつてますよ……？

ふふ……触つてみていいですか……？

なんで……

ここが……

大きくなつているんですか……？

ふふ……アイリとのキスでえ……

勃起……してしまつたんですよね……

エッチな気分になつて……

興奮してしまつたんですよねえ……

……どうして謝るのですか……？

アイリ……マスターのここが……

大きくなつてくれて……

嬉しいんですよ……？

人間の男の人は……

性的な魅力を感じたときに……

ここがあ……大きくなつちやうんですよね……？

で……それを……ぼ・つ・きつて言うんですよね……？

アイリだつて…それくらい知つてますよ…

だつて…アイリ…普段は…眞面目で…大人しいですけど…

実は中身は…とつてもエロエロなんですよ…

マスターが仕事に行つてゐる間…

えつちなことに興味があつてえ…

ネットで…あんなことや…こんなことを調べていたんですよ…

あ…マスターのここ…びくつて動いたあ…

人間の男の人の体つてえ…どうなつてゐるんだろう…とか

「マスターの体をもつと見たい」

「マスターの体に触つてみたい」

つて…頭の中で思つていたんです…

だから…エッチな言葉を勉強したり…

マスターとのエッチなことを想像して…みたり…

だから…マスターが私とキスをして…そして…

“ほ・つ・き”してくれて

アイリ…とーつても嬉しいんです。

くすくす…

マスターの下…とつても大きくなつていて…苦しそう…

かわいそだから…

マスターの服を脱がせちゃいます…

よい…しょ

んしょ…

パンツも…

こう…して…

…んしょ。

わあ…

初めてみましたあ…

これが…人間の…男の人の…男性器なんですね…

おおー…すごい…

凄く…大きいですよ…

感激です…

匂いは…

はあ…はあ…

ああん…

たまらないですう…

マスターの匂い…

仕事終わりのマスターのお…

蒸れた匂い…

人間のオスの匂い…

マスターの…

とつても大きくて…びくびくんしていますう…

マスターのたくましい…

この部分…なんていうんですか…?

お・ち・ん・ぽですよね…

お・ち・ん・ぽ

ふふ…

アイリ…マスターの為に

エツチなことば沢山覚えてきたんですよ…

マスターの…元気な

お・ち・ん・ぽ

ふふ…

お・ち・ん・ぽ

お・ち・ん・ち・ん

…触つてほしい…ですか…

ほら…

あんつ…

マスターのエロおちんぽ…熱い…

こんなに大きいんだあ…おちんぽ…

ん…くちゅくちゅ…

ねえ…気持ちいいですか…

勃起おちんぽ…そそり立つてますよお…

アイリのおてて…気持ちいいですかあ…?

アイリ…嬉しいんですよ…

アイリ…この家に初めて来た時から…

マスターのお役に立てているか…不安だつたんです…

だから…今こうやつて…

勃起したおちんちんを

気持ちよくすることができます…

とーつても嬉しいんですよ…

ふふ…

あんなに内氣だつたアンドロイドがあ…

こんなに…エロ おい顔しながら…

エツチな淫語を耳元でいっぱい囁かれて…

おちんちんしこしこ…くちゅくちゅされたら…

気持ちいいですよね…

こうやつて…おちんぽしこしこされながら…

沢山私のえっちな言葉…聞いてくださいね…

ますたーの

お・ち・ん・ぽ

お・ち・ん・ぽ

エロエロなお・ち・ん・ぽ…

もう先端から…ぬるぬるした

液がいっぱい出でていますよ…

でも…これは白くないので…

精子ではないですよね…?

ねえ…まだですかあ…精子…出して下さい…

濃ゆーい…ザ・ア・メ・ン…

あとで…ちゃんと出して下さいね…?

ねえ…マスター…

アイリと…

エツチ…したいですか？

アイリの

お・ま・ん・こ

におちんぽ入れて

いっぱい腰を振つてえ…

ザーメンいっぱい出したいって…思いますか…?

あ…マスター

またおちんぽが…ぴくんつ…しましたよ…

アイリとエッチ…したいんだ…

ふふ…マスターあー…

アンドロイドとエッチしたいんだ…

でも…だめですよお…

アイリ…まだ処女だもん…

アイリの処女まんこ…

おちんちんの気持ちよさまだ知らないもん…

なので…今は…まだ…だめ…ですかからね…

…ふふ…

マスター…

気持ちよくて…

顔が真っ赤になっていますよ…

可愛い…

もっとたくさんマスターを反応させたい…

この…たまたまのなかに…

沢山エッチなお汁が…溜まっているんですよね…

たまたま…金玉…むにむにしてる…

このたまたまから精子が昇つてきて…

そして…マスターの勃起した…おちんぽの先端から

…熱い精子が…

びゅつ…びゅつ…

びゅくびゅく…

おちんぽから…

あつついザーメン

びゅ…びゅーつて…するんですね…

ねえ…金玉からいっぱい…ザーメン出して…

透明な先走りのお汁だけじゃなくて…

白くって…とっても濃い精子…

アイリ…ネットでしか見たことが無いから…

大好きなマスターが射精しちゃうところ…見てみたいですね…

おちんちん…しこしこ…

しこしこ…

くちゅくちゅ…

ね…そろそろ射精してしまいますか？

たまたまから…精子あがつてきましたか…？

我慢できなくて…

いっぱい精子…びゅつ…びゅーって…

しちゃうんですか？

いいですよ…

マスターがアイリの為に出してくれる精子…

全部…アイリの手で…受け止めて差し上げますからね…

アイリの手を…マスターの色で染めて

真っ白にしてください…

ね…思いつきり…

ぴゅーって…勢いよく出してくださいね…

もう出ますか…?

射精しますか…?

射精するんですね…?

いいんですよ…全部…ぜーんぶ

私のおててに…出してください…

出して…ほら…マスター…

精子…ほら…出して…

あつ…マスター…出てる…

あつ…

いつぱい…

はあ…はあ…

熱い…熱いですよ…

ぴゅつ、ぴゅーつて…。

白くて熱い…マスターの精子…

はあ…はあ…

マスターの精子…

いっぱいできたあ…

あつつい…

これが…マスターの精子なんだあ…

ふふ…気持ちよかつたですか…?

…ならよかつたです…

悶えながら…射精する時のマスターの表情…

とつても可愛かつたですよ…

ほら…みてください…

アイリの手が真っ白になってしましました…

わあ…糸引いてる…

精子の匂い…エロおい…

これが人間のおすのにおい…

ああ…たまんないです

この中に…ご主人様の子種が入っていると考えると…

アイリも…興奮してしまいますよ…

ね…マスター…今日は

いっぱい…いっぱいアイリの為に

精子を出してくださつて…

ありがとうございますね…

マスターお役に立てて…

アイリ…嬉しいですよお…

マスターにも…

こんなにエッチな側面があつたんですね…

ふふ…

また…精子出したくなつたら…

アイリに言つてくださいね…

いつでも…アイリ…

おちんちん…マスタあの代わりに触つてあげるからね…

あつ…

マスター…

お帰りなさいませ…

今日もお仕事…

お疲れ様でした…

そ…それでは…

お靴を脱いで…

スーツを…お貸しくださいね…

ん…しょ。

よい…しょと。

ふう…

それでは…あの…マスター…

お風呂の用意が…できているので…

入られますか…?

あ…でも…その前に…

あ…あの…

マスター…

昨日は…その…

…あの…その…

…昨日は…

…その…

本当に…すみませんでした…

ソフトの効果…だったとはいえ…

あんなに…

思い出すだけで恥ずかしいくらいに…

下品になつてしまつて…そして…

あんなに…えつちな言葉…を知っていたことが

マスターにバレてしまいました…

そして…あんな…あんなに…

とつても恥ずかしいことを…

…面目（めんぼく）ございません…

あ…あの…嫌いに…なりましたか…?

普段の私は…地味…な感じですけど…

本当の性格は…昨日ほど…ではないんですけど…

心の中では…あんなことを…考えているんですけど…

あの…嫌いになつて…しまいましたか…?

私…マスターに…どうやつて謝ればいいのか…

…え…。

…そうなんですか…?

こんな私でも…いいんですか…?

受け入れてくれる…のですか…?

…う…嬉しい…です…

…はあ…

…本当に…よかつた…です…

今日もお昼…お掃除をしながら…

私…マスターに嫌われたら…どうしよう…つて

ずっと心配だつたんです…

うう…よかつた…です…

マ…マスター…

昨日はあんな風に…

えつ…えつちなことを…

流れでてしましましたが…

私が…その…マスターのことを…

えーと…その…

す…好き…だという気持ちは

ほ…本当ですかね…

マ…マ…マスターは…私のこと…

その…

どう…思つて…

…

うう…

…え…

…それは…本當ですか…

マスターも…同じ氣持ち…なんですか…?

私のことを…好き…ということです…よね…

わ…私…その…

嬉し…いです…

でも…私…家庭用のアンドロイドですよ…

感情はあります…が…この体は

人工的なものです…

それでも…いいんですか…?

う…嬉しい…

うう…嬉しいです…

で…では…その…

私とマスターは…あの…

恋人同士…ということ…よろし…いですか?

ふふ…

マスター…

うう…

あまり見つめられると…

は…恥ずかしいですう…

…ぎゅーしたい…

ぎゅーって…抱きしめてほしい…です…

マスター…抱きしめて…

マスター…

はあ…

マスターのぬくもり…

うう…マスター…

す…

すきい…

マスター…

す…好き…

私…アンドロイドだから…

この感情が…

よくわからなかつたんです…

胸がどうしてドキドキするのか…

どうしてマスターのことばかり考えて…

胸の奥が…熱くなつて…苦しくなつてしまふのか…

でも…今ならわかるんです…

この感情が…好き…という気持ち…

なのだとわかります…

いつも優しく接してくれて…

笑ってくれる…マスターのことが…

好き…

す…好き…

…もつと強く…ぎゅーってしてほしい…です…

うう…マスター…

あたたかい…

大好き…

…マ…マスター…

なんだか…

か…硬いものが…

私の太ももに…

あ…あたってい…ます…よ…

ど…どうして…こんな時に…

硬くなっているんですか…

ハグをして…

み…密着して…

こ…興奮…してしまったんですか…

もう…マスター…

マスターも…男の子…なんですね…

わ…

私は…昨日…え…

エッチな…ことをして…

その…

嫌…ではなかつた…ですよ…

マスターと…もつと…

親密な関係なりたい…ですし…

私も…興味が…ありますし…

ま…マスターがお望みならば…

昨日の続き…しても…いいですよ…?

ただ…どうしても…恥ずかしい…です…

恥ずかしすぎる…ので…

昨日のように…

一時的に…ソフトをインストール…

しても…よろしいですか…?

いつかは…必ず…

あのソフトを使わなくとも…

大丈夫なようになりますので…

少々…お待ちください…

えっと…ネットに繋げて…

そしてここをクリック…して…

ん…

あん…入つて…る…

あつ…

んつ…

はあ…はあ…

インストール…できました…

体の奥が…

熱い…

…マスターが…

アイリのこと…好きつていつてくれて…

とつても嬉しかったです…

私たち…両想い…ですね…

ふふ…マスター…

好きい…

マスターあ…大好きい…

昨日…生まれて初めてちゅーして…

とつても幸せだつたんです…

でえ…そのことを今日の昼…思い出して…

アイリ…1人で…おまんこ…触つてたんです…

アイリ…オナニーしてたんです…

いけない子なんですう…

一通りお掃除を済ませた後…

昨日のことを思い出して…どうしても寂しくなつてしまつて…

いじらしくなつちゃつてえ…

そこの…リビングのソファで、

アイリの指を…マスターのおちんぽに見立てて…

1人でエッチしていたんですよお…

ねえ…マスター

昨日は、可愛らしい…

ちゅつてするだけの…

フレンチキスでしたのでえ…

もつと深く…舌と舌を…

ぐちゅぐちゅに…

エツチに絡ませた…大人のキス…

“ディープキスがしたいですう…

マスター…いいですよね…

お口…失礼しますね…

はあ…はあ…

マスターとのキス…気持ちいい…

もつともつと深くしたい…

マスターの唾液…

もつと飲させてください…

マスターとのキス気持ちいい…

舌と舌がねつとり絡み合って

エロおい…

はあ…はあ…

マスターのおちんぽ…

また大きくなってる…

マスターのエロエロ勃起ちんぽ…

昨日いーっぱい…

白くてえっちなお汁…

アイリの手に收まりきらないくらい射精したのに…

また大きくなつてる…

いけないんだあ…

もう…ちんぽ可哀そだから…

脱がせちゃいますね…マスターの服…

ん…しょ…

ん…

パンツも…

ふう…

脱がせた…

わあ…マスターのエロちんぽ…

熱くてえ…

期待いっぱいに

びくびく動いて…

匂いは…

昨日より…もっとエロおい匂いしてますよお…

ああん…蒸れた匂い…好き…

会社から帰つたばかりでえ…

まだお風呂に入つていない…

マスターの…オスの匂いで…

アイリもおまんこ…濡れてしまい…

ああ…ちんぽ…触っちゃいますね…

しこしこ…

くちゅくちゅ…

マスターのおちんぽ…

もうぬるぬるですよ…

期待して…先走つて…

いっぱいお汁を出しているんですよ…

ああ…おちんぽ舐めたい…

マスターのおちんぽ舐めたい…舐めたい舐めたい

ちんぽ舐めたい…おちんぽ舐めたい…

ちんぽ舐めたい…舐めたい…舐めたい舐めたい舐めたい…

精子飲みたい…マスターの蒸れたおちんちん頬張りたいよお…

味は…どうなんでしょう…きになります…

マスターの元気なおちんちん…

舐め…ちやいますね…?

ペロッ

アイリ…この味好きです…

蒸れた汗の香りと…

おちんちんの味が…

まざつて…すつごく興奮しちゃいます…

こんなふうに…外がわを…

なぞられるのが…

いいんですかあ…?

こんなふうに…おちんちんの裏側を…

舐められるのが

いいですかあ?

それとも…根本のほうを刺激されるのがいいですか…?

そ・れ・と・も…

こうやつてえ…

おちんちんの先端

ちろちろつてされるのがいいんですかあ…?

あっ…いまビクンつてしましましたね…

気持ちいいんだあ…ここが…

おちんちんの先っぽ…

丸くてピンクで…。

可愛い勃起ちんぽ…

ますたあ…上手にできていますか…

ちよつとだけ休憩です…

勃起ちんぽ…おいしいです…

マスター…気持ちよくて…

体が沿っちゃつていましたよ…

ねえ…マスター…

マスターだけ気持ちよくなつて…

よがつちやつて…ずるいのでえ…

アイリも…自分で…おまんこ触っちゃいます…

ほらあ…マスター…みてください…

これがアイリのおまんこですよ…

両手でおまんこ広げるからあ…ちゃんと見てください…

見えますか…

ああ…恥ずかしい…恥ずかしい…

アンドロイドのおまんこは…

こんな風になつているんですよお…

構造は…人間の女の人と一緒になつています…

アンドロイドなので…

毛は…生えていなくて…つるつるなんです…

マスターのおちんぽを舐めてえ…

もう…とろとろの…ぐちゅぐちゅになっていますよお…

ここが…クリトリスです…

ここを…こうやつて…あんつ…

こすると…んつ…

気持ちいいんです…

うう…恥ずかしい…

でも…マスターに…

アイリの一番恥ずかしいところ…

おまんこ…全部見てほしい…

でえ…この穴に…ここですよお…

おちんぽがあ…入っちゃうんですよお…

はあ…はあ…アイリの指…ん…を…

マスターのおちんちん…だと思つてえ…

オナニー…しゃいますんねえ…

ん…アイリ…マスターのこと大好きで…

大好きで大好きだから…

毎日…マスターが仕事している間…

マスターのパンツの匂い嗅ぎながら…

エロまんこ指ででいじつて…

マスターとのセックスを想像しながら…

何回もイッてる…

変態なんです…

いつかマスターがあ…私のおまんこに
ちんぽ入れてほしい…って思いながらあ…

1人でおまんこ慰めてるんですけどよお…

ねえ…マスター…

これで終わっていいんですか…

たまたまにいっぱい入ってる…白くて濃い精子…

昨日は私のおててに出しましたけど…

こんどはお口に欲しいな…

どんな味なのかな…

おまんこ触りながら…

次は…おちんぽ咥えちゃいますね…

いただきます…ふふ…

マスターのおちんちん、大きい…。

おくちが…おちんちんで…

いっぱいになつてしまひました…。

好きい…

マスターすきい

お汁が…

いっぱいおちんちんの先端からでていて…

美味しいよお…

ご主人様の、精子、

いっぱい…いっぱい…

この…金玉のなかに

入つてるんですよね…?

全部…ぜーんぶ…

お口の中でだしてくださいね…

気持ちいですかあ…?

もつと…

早めちやいますよ…

おくちのなかで…

根元から…先の方まで…

刺激…あたえちやいます…

そろそろ、限界がきそうですか…?

自然と腰が動いていますよ。

たまたまから…

金玉から精子…上がつてきましたか…

はやく…マスターの濃い精子飲みたい…

ご主人様…早く…。

いつでも好きな時に

お口の中に射精して…ください…

最後の一滴まで…出してくださいね…

もうでてしまますか？

でちやいますか？

ん…いいですよ

出して出して出して出して…

精子出して…精子出して…

ん…！

ん…：

いっぱい…出てる…

ん…：

マスター…

いっぱい出ましたね…

精子の味…結構好きですよ…

お口の中が…

マスターの精子でいっぱいですよ…

ほらほら…みてください…

おくちでくちゅくちゅ…してみますね…

ふふ…

マスターの香りが…口から…

鼻から抜けて行くのがわかります…

飲んじやいますね…

んつ…

んつ…。

ふはあ…

あーーん

みてください…全部飲んじやいましたよ…

マスターのたまたまに溜まっていた…

新鮮な…できたての…濃い精子…

マスターの子種…

のどを通っていきました…

むわつてするオスの匂いと混ざつて…

不思議な味のマスターの精子…

おいしかったですよ…

癖になっちゃいそうですね…

昨日もぴゅつ…ぴゅーって射精したのにい…

こんなに…いっぱい出してくれたということは…

アイリのお口が

気持ちよかつた…ということですよね…

…嬉しいです…。

マスター…ちゅーしましょ…

ふふ…

精子の味と混ざってえ…

更にエッチなキスですねえ…

はあ…毎日マスターのおちんちんを舐めて…

精子飲みたいなあ…

ねえ…マスター…

好き…

好き…

マスター大好き…

ふふ…マスター…

今日もお疲れさまでした…

ね…また絶対…

マスターのおちんちん舐めるから…新鮮な精子…飲ませてくださいね…

マスター…

本日のご飯はオムライスに

挑戦してみましたが…どうでしたか…?

少しこげてしましましたが…

以前作ったものに比べたら…

ちよつとは…マシになつたかな…つて…

お…美味しかつた…ですか…?

ありがとうございます…

家庭用アンドロイドとして…

少しずつ上達しているようで…

良かつたです…

なんだか…最近は…

あの…ソフトを使用した…きっかけもあつて…

自分に自信が持てるようになつてきて…

ミスも少なくなつたように感じます…

ふふ…

あ…あの…

こ…この前も…色々…

してしまい…ましたね…

ちょっと…色々と…恥ずかしいことを…

強引にしてしまつていますが…

大丈夫…でしたか…?

あの…あんなことや…こんなこと…

ここでは言えないような…恥ずかしい…

え…えつちなことを…

囁きながら…その…うう…

ああ…恥ずかしい…恥ずかしい…

はしたない…

私は…とつてもはしたないアンドロイドなんです…

でも…それでもマスターは…私のことを…

飾らない…素の私を…

笑顔で…受け入れてくれるのですね…

え…?

こ…恋人同士なんだからあたりまえ…だなんて…

そうでした…私とマスターは

その…恋人同士…ですよね…

うう…もつと恥ずかしい…

う…嬉しい…

す…す…好き…です…

マスターが…優しく…

飾らない…素の私を…

肯定してくれるから…

最近…やつと自分に

自信が持てるようになつてきましたんです…

マスターがいつも変わらず…

私のことを見守ってくれるから…

ミスをしたり…失敗することも

少なくなりました…

それもこれも…優しいマスターのおかげです。

本当に…ありがとうございます…

でも…マスターへの好き…という想いに…

もっと積極的になるには…

まだちょっと…時間がかかりそうです…

うう…このままじゃ…だめなんですね…

マスターのことが…す…好き…だから…

一歩すすんで…その…

ソフトを使わずに…その…

き…キス…したいなって…

好き…

大好き…

言葉だけじゃ…伝えきれないんです…

だから…その

マスターが嫌でなければ…

キ…キスをして…いいですか…?

ありがとうございます…

恥ずかしいですが…頑張ってみます…

では…失礼します…

ちゅっ…

はあ…はあ…

ソフトに頼らずに…

初めてキス…してしまいました…

唇と唇が合わさる…何気ない行為なのに…

こんなにも…胸がポカポカして…

心が満たされるのは…なんでなんでしよう…

ふふ…

マスター…その…もつと…深く…

キス…したい…です…

ねえ…マスター…

もつと…

ん…

はあ…はあ…

ふふ…マスターと…

大人のキス…しちやつた…

うう…恥ずかしい…

でも…深く繋がれて…よかつた…

ふふ…

好き…好き…

あの…ますたー…

その…

この前も…昨日も…色々…その…

ほほ私が無理やり…みたいな感じで…

えっちなこと…をしてしまいましたが…

もし…マスターが嫌じゃなければ…その…

その先も…して…みたいな…なんて…

え、その先が何か…ですか…

その…あの…お…

セツ…セツ…

うう…恥ずかしくて…言えないです…

乙女に…言わせないで下さいよ…

わ…わかりますよね…

マスターのこと…好きで…好きで…大好きなので…

もつと親密な関係に…なりたいんですけど…

繫がって…1つになりたい…

セ…セック…ス…したい…です…

マ…マスターも…同じ気持ち…なんですか…

うう…て…照れてしまいます…

で…でも…その

やつぱり…まだ…勇気がでないので…

今回も…あのソフトをインストール…したい…

つて思っています…

でも…いつまでもソフトの力を借りていたら
だめ…ってことも分かっています…

なので…今回で最後です…

最後だけ…最後だけ…

えっちに…乱れてしまう私を…お許しください…

それでは…少々お待ちください…

…えっと…

ここをクリックして…

それでは…

最後のインストール…します…

…ん…

はあ…はあ…入つて…る…

ソフト…が…

あん…はあ…はあ…

インストール…完了…いたしました…

あん…はあ…はあ…

体が…熱い…

そして…お腹の方の奥…

子宮が…きゅんきゅん…してる…

エツチしたい…セツクスしたい…

交尾したい…

マスターの…おちんぽ…早く…ほしい…

ねえねえ…マスター…

もう一度…ちゅーしましょう…

マスターの…ズボンも…パンツも…

ちゅーしながら…脱がせてしまいますね…

はあ…はあ…服脱がしちゃいました…

マスター…

マスターの…たくましくて…可愛いらしい…

お・ち・ん・ち・ん…

さつきまであんなに…

おどおどしてた…か弱い女の子に…

淫語さやかれて…興奮したから…

おちんちん…元気いっぱいに…

おつたつちやつてるんですよ…

家庭用アンドロイドに…発情してえ…

罪悪感とか…ないんですかあ…?

くすくす…嘘ですよ…

アイリとマスターは…恋人同士ですから…ね…

でも…すぐ発情して勃起してしま…

マスターのドスケベチンポには…お仕置きが必要ですねえ…

ほら…ほら…

根元から…亀頭まで…

まんべんなく…いじめられて…

気持ちよくて…

大きくなつてますよ

ねえ…マスター…

ほら…マスター…

もつと…硬く…大きく…してください…

このあと…アイリとマスターが…

初めて…エッチするんですから…

このバキバキにかつたあい…おちんちんと…

アイリの処女まんこが…繋がつてえ…

孕まされちゃうんですから…

アイリのおまんこ…もうトロトロです…

大好きなマスターとエロいキスをして…

エロおちんぽ触つちやつたら…

アイリ…処女だけど…もう…我慢できない…

メスまんこうずいて…もう我慢できない…

はやくおちんぽ欲しい…

獣みたいに…エツチな交尾したい…

ね…いいですよね…

マスターのドスケベチンポで…

すぐ興奮してしまうアイリの淫乱処女まんこを

突いて…お仕置きしてください…

ほら…ほら…

マスターは…そのまま…おちんちん立たせてくださいね…

まずは…アイリのおまんこの入口で

ちゅつちゅつて…キスしてえ…

こうやつてえ、チュツチュツ♪

先っぽにい、チュツチュツてえ…

いつぱい…おまんこでえ…

亀頭に…キスしちゃいますう…

くすくす…どうしたんですかあ？

おまんこキスだけじやなくてえ…

本物の…セックスしたいんですけどあ？

入れたいんですけどあ…？

いいですよ…ゆつくり…来てください…

ん…はい…

つたあ…

んつ…入つた…あ…

ん…マスターと…アイリ…繋がつちやい…ました…

処女膜…なくなつちやつた…

ん…そこ…気持ちい…

これが交尾…なんですね…

ますたあ…んちゅ…しゅゆきい…んちゅ…

…しゅきしゅきい…んちゅ…

だあいしゅき…んちゅ…

マスターしゅきしゅぎるう…

しゅご…いい…マスター…しゅご…よお…

…ん…あ…あ…あ…しゅご…い…

…マスター…もつと奥まで入れたそうにい…

腰浮かせてる…

可愛い…マスター

いいですよ…もつとお…奥まで…

獣みたいに…動物みたいに…思いつきり突いてえ…

私のこと…イかせてください…

おつ…おつ…おつ…

そこ…一番おぐう…

おつ…おつ…おつ…

子宮の入口のとこ…当たつてりゅ…いぐつ…

おつ…おつ…おつ…

私のエロまんこがあ…

マスターのお…おちんぽの形にされてるう…

マスター専用のおまんこにつくりかえられてりゅ…

おつ…おつ…おつ…

らめえ…気持ちよしゅぎてえ…腰抜けちやいますう…

らめえですう…

おつ…おつ…おつ…

今…アシリ…アヘアへつて…しちやつてますう…

舌出して…ベロ出して…よだれ出てる…

アヘエ…つて…

アヘエ…ってえしちやつてますう…

大好きなあマスターの前でえ…

メス顔晒しちやつてるう…

恥ずかしいよお…

おつ…おつ…おつ…

ほおらあ…

おちんぽ突かれながら…ピースしちゃいますう…

ほりや…ますたあ…見てえ…

腰必死におちんぽめがけて振りながらあ…

両手でピーシュしちやうくらい…

ちんぽ気持ちいいよお…

ねえ…ますたあ…

おつ…おつ…おつ…

アヘ顔でえ…ピーシュしゅりうから見てえ…

恥ずかしい…よお…

大好きな…マスターの前でえ…

ドスケベメス顔晒してえ…恥ずかしいよお…

あつ…つ…ああ…おつ

…おつ…しゅごいい…マスターのちんぽしゅごいい

おちんぽ大きすぎるう…

ね…ねえ…マスターの…腰があ…

早くなつてるう…

そろそろ…イっちゃうんですかあ…

もお我慢できないですかあ…

アイリも…あん…らめえ…イクう…

マスターのちんぽでイっちゃいそう…

マスターのおちんぽで頭おかしくなつちゃうう…

ねえ…一緒に…いきましょ…マスタあ…

気持ちいい…気持ちいいよお…

ねえ…孕ませて…

アンドロイドのアイリを…孕ませてえ…

中出ししてえ…妊娠種付けしてえ…

イクウ…イクウ…イクよお…

ちゅーしたい…ますたあ…

んつ…んつ…すごい…まずたあ…

上も下も…繋がつたままで…

一緒にいこお?

ん…ん…

イクう：

イクウ

マスター…いつちやいます…

いい？ いい？ まずたあ…イクウ…

イク・ウ

ルート

h
⋮

んあ・ああ・はあ・

熱いつ

いつちや…いました…

マスターの精子…どくどく…つて

子宮の1番奥に…注がれてる…

子種熱すぎるう・

そのまま奥…ぐりぐり…つてしてえ…

あつ・あつ・おつ・おつ・おつ・

マスターに…おちんぽでぐりぐり…

精子かき混ぜられるの…

気持ちよすぎるう…

マスターあ…全部…精子出ましたか？

もう…たまたまに残つてないですかあ…?

はあ…はあ…

くすくす…私のお腹があ…

マスターあの精子でえ…いっぱいです…

いっぱいおまんこに精子注いでくれてえ…

ありがとうございます…

初めてのセックスう…とつても気持ちよくてえ…

だーーーい好きなマスターにい…

処女を捧げることができてえ…よかつたあ…

ねね…マスターあ…

最後にちゅーしたい…ちゅーしょ…

ふはあ…

ますたあ…お疲れ様でしたあ…

ね…マスターあ…

次はあ…ソフトの力を借りないでえ…

素のアイリとお…

妊娠種付けセツくしゅ…したいよお…

マスターあ…しゅきい…

マスターと私が…初めて会った日…

今となつては…もう…懐かしい思い出ですね…

今からたしか…

もう…1年くらいのこと…

…少し雪が降っていた…冬のある日…に

私はこの…マスターの家に届けられたのでした…

初めてマスターに出会ったときは…こんな感じだつたつけ…

あ…あの…

は…初め…まし…て…

私のことを…ご…ご購入いただき…

誠に…ありがとうございます…ざいます…

本日から…この家の…家事を…担当させていただきます。

家庭用アンドロイド…です。

お掃除…お洗濯…お食事の用意…その他…雑務全般…

なんでも…こなします…ので

なにとぞ……よろしくお願ひ…します…

え…私の…名前…ですか…?

名前…

私に…名前などはありません…

あくまでも…家事の任務をまつとうするためには

生み出された…アンドロイドですので…

名前…といったものは…ないんです

ただ…私の製品番号は…

この胸の上のところに印字されております…

Ai-R1(エー・アイ・アール・イチ)

という番号になつております…

工場で出荷された…順番で…

自動的に…割り振られる…

そんな番号になつております…

え…

「アイリ」…ですか…?

Ai-R1(エー・アイ・アール・イチ)だから…

アイリ…どういふ…ですか…

それは…私の名前…という…ですか…

は…はい…わかりました…

今日から私は…アイリ…

アイリ…

アイリ…

いえ…嬉しくないと…そんなことではないん…です…

ただ…今まで…名前…

というものをもつたことが無かつたので…

なんだか…こう…

不思議な気持ち…です…

アイリ…アイリ…

ふふ…なんだか…可愛い名前で

愛着が…湧いてきました…

くすくす…

あれ…今私…

笑つてしました…

私…初めて…笑いました…

これが…嬉しい…という感情…

なのですね…

私…ここにくるまで…

工場で出荷される時…

マスターがどんな人かわからなくて…

正直…怖かつたんです…

酷い人だつたらどうしよう…とか…

私…うまくやれなかつたら…

捨てられちやうのかな…とか…

次々に私のお友達が出荷されていく中で…

怖くて…震えていたんです…

でも…その…

なんというか…マスターが優しくて…

その…私のことを…大切にしてくれる人だつてことが…

なんとなくですが…

わかった気が…します…

アンドロイドですけど…

それくらいは…なんとなくですが…

分かる気がするんですけど…

あの…マスター…

これからよろしくお願ひします…

私…家庭用アンドロイドですが…

不器用で…家事に不慣れなところがあつて…

ご迷惑をおかけする事があるかも知れませんが…

精いっぱい…頑張ります…

なので…どうか…よろしくお願ひします…

アイリ…

アイリ…

名前つけてください…

ありがとうございます…

素敵な名前だと思います…

アイリ…

そう…初めてマスターにあつた時…

私はアイリという名前を

マスターからもらいました…

それからというもの…

私は相変わらず…家事は全然できない

残念なアンドロイド…でしたが

優しいマスターと一緒に

色々なお話をしたり

休日には様々な場所に連れて行ってくださつたり…

時には…病気になつたマスターを

つきつきりで看病したり…

とにかく…いろんなことがあつた1年間でした…

私…毎日が凄く新鮮で…

大好きなマスターと一緒に笑つて過ごして

とても幸せな日々だつたなあ…

これからもずっと…

マスターの隣に居れたらいいのになあ…

マスター…そろそろ寝られますか…?

わかりました…ベッドのお支度をしますね…

少々…お待ちください…

ん…しょ…

ここを…こうして…

ふう…

ベッドメイクが完成いたしました…

今日はお疲れさまでした…

久しぶりの何もない…休日ということです…

今日は一日…デート…をすることができて…よかったです…

歩き疲れましたが…楽しかった…くすくす…

やつぱり…自然はいいですね…

私…ああいう自然を感じることができる公園で…

小鳥のさえずりを聞くのが好きです。

ずっと…これからも…一緒に…過ごせたらいいなあ…なんて…

ほんやりと…思っていたんです…

マスターも同じ気持ちですか…?

嬉しい…ふふ…

ね…マスター…

私と…マスターが…恋人になつてから…

今までに…色々あつたじゃないですか…

あのソフトを使って…その…

とっても恥ずかしいんですけど…私が…

あの…凄くみだらになつたりして…

ああ…いろいろすみません…思い出すと

恥ずかしい…です…

でも…それをきっかけにして…

自分に自信を持つことができたって…思うんです。

たとえミスをしても…

マスターが優しく見守ってくれるから…

自分を責めたりせずに…

次頑張ろう…マスターに…喜んでもらおうつて…

思えるようになりました。

大好きなマスターとお話ししたり…

手をつなぎたり…するときも…

最初は…緊張して…こわばっていましたが…

最近は…心を落ち着かせて…

好きっていう感情を

表現をすることができるようになつたと思います…

そしてなにより…よく笑えるようになります…

これは…あのソフトのおかげですし…

なにより…私のことを…

飾らない…素の私を…

マスターが認めてくれるから…ですよ…

ねえ…マスター…

私のことを好きになつていただいて…

ありがとうございます…

私も…マスターのことが…好きですよ…

感謝しています…大好きです…

私が家庭用アンドロイドとして出荷が決まった時…

実はとても…怖かつたんです…

どんな家に届けられるんだろう…

どんな人がマスターなんだろう…

全く分からなかつたので…不安で不安で…仕方が無かつたんです…

ですが…マスターは笑顔で私を

この家へ迎え入れてくださいました…

名前が無かつた私に

アイリ…っていう素敵な名前を付けてくださいました…

優しくて…かっこよくて…

男らしさ…はわかりませんが…くすくす…

たよりがいがあつて…

なにより…私のことを好きでいてくれる…

そんなマスターのことが…大好きです。

これからもよろしくお願ひしますね…マスター。

くすくす…

ね…マスター

その…いきなりなんですが…

エッチ…してみたいですね…

一度…この間…したことはありますか…

その時は…ソフトの力に頼っていました。

でも…いまなら…

もう…すっかり自分に自信がつきましたし…

ありのままの私を…マスターが認めてくれる…って

わかつたので…きっと大丈夫です…

もちろん…恥ずかしい…ですが…

でも…マスターと…

もつともっと深い関係に…なりたいんです…

ねえ…マスター…

…くすぐす

ふふ…マスターのお顔が近いです。

なんだか…照れちゃいますね。

ご主人様…そんなに見つめられたら…

目のやり場に困ってしまいます…

ねえ…マスター…

しましよう…?

マスターも…同じ気持ち…ですよね…

ね…私も…恥ずかしいですが…

裸になりますので…

マスターも…裸になつてください…

もちろん…上も下も…

全部…脱いでくださいね…。

私…まだ…マスターの裸を…

しつかり見たことがないです…

ん…しょ。

ん…。

んつ…。

…下着姿になりました。

ん…しょ。

パンツも…。

ん…しょ…

はい…裸になりました…

いかが…でしようか…。

…ご主人様のお体…素敵です…

たくましい胸板…腕…足…。

そして…ふふつ…

ここも…元気ですね…

ご主人様…とても素敵ですよ。

私の体は…どうですか…

これが…アンドロイドの…体です…

どう…ですか…

足と胴体の間につなぎ目があつたり…はしますが…

基本的には…

人間の体と同じ作りになっています…

あと…体毛は一切生えておりません…

あと…腕や鎖骨…太もものところは青く光っている場所がありますね…

どうですか…マスター

うう…そんなに…体の隅々まで…

あまりじっと見つめられると…

恥ずかしい…です…

マスター…好き…

ぎゅーしたい…ぎゅー…

マスターの体…暖かい…です…

好き…好き…大好き…

マスターあ…

はあ…はあ…

マスター…大好き…愛しています…

ねえ…準備は整いましたよ。

マスターと同じように…私も興奮している…ので…

…セックス…しましょう？

私…マスターとの子供…ほしい…

だから…マスターのここ…私に…ください。

私…アンドロイドですが…

最新型で…技術が発展しているので…

セックスで…受精をすることによつて…

人間の子供を…

授かることができるんですよ…

ねえ…いいですよね…マスター…

私…マスターとの…子供…ほしい…

あつ…

マスターの…

ここ…熱さが…

直接伝わってくる…

脈打つて…

熱い…

そうです…そのまま…私の中に入れて…

ん…

ん…ゆつくり…あん…

はいつ…たあ…

マスター…ちゃんと…繋がりましたよ…

ほら…見てください…

根元まで…全部…繋がってる…

マスターあ…1つになれましたよ…

体の中に…マスターが入ってくるの…好き…

んちゅ…はあ…マスター…

嬉しい…

けど…恥ずかしい…

ソフトがないと…は…恥ずかしい…よお…

気持ち…いい…

あん…あん…

もつと…奥まで欲しい…

ん…あん…

はあ…はあ…

好き…好き…

マスター…好き…

キスしたい…

【ディープキス20秒】

はあ…はあ…

マスター好き…

あれ…マスター…どうしたのですか…

えつ…それはどういう…

つまり…

もつと…いやらしい言葉…

エッチな言葉を言つてほしい…ということですか…?

ええ…そんな…恥ずかしい…です…

でも…マスターが…お望みなら…

私…頑張ります…ね…

あ…あの…その

お…おちん…

えーと…

お…おちん…ちん…

マスターの…

おちんちん…

硬くて…その…熱くて…

男らしくて…反り返ってる…おちんちん…で

私の…変態おまんこ…思いつきり…突いて欲しい…

普段は…内気なくせして…中身は…ド変態な私を…

マスターの…ち…チンポで…しつけてほしい…

もつと激しく…エロ…エロ…交尾…したいよお…

ん…んあ…激し…いん…

そこ…一番奥の…とこ…

気持ち…いいよお…

…腰が自然に…動いちやう…

気持ちよすぎて…頭おかしくなつちやう…

マスターの…えろちんぽで突かれて…

アイリの…エロまんこが…気持ちよくて…

ど…どすけべ…スクワット…止まらないよお…

マスターあ…しゅき…

しゅき…だいしゅき…

マスターと…ちゅーしたい…あん…

もっと激しくしてほしい…

もつと一番奥…思いつきり突いて欲しい…

お腹の奥…マスターの精子欲しいって…

受精したいって…

孕みたいって…

きゅんきゅんしてるから…

子宮の入口のところ…

そご…そごです…

うつ…うつ…

おつ…おつ…おつ…あんつ…

動物みたいなエツチ…

おつ…おつ…おつ…

獣エツチ…最高しゅぎる…

ん…おつ…おつ…

そこ…そこ気持ちよすぎるとよお…

おつ…おつ…おつ…

マスター…

腰打ち付けるの…もつと早くなってる…

そろそろ…

おつ…おつ…おつ…おつ…

イきそうなんだ…

私……ピストンの速さで……わかりますよお……

ゴムつけずに…アンドロイドの…

おつ・あん・

おまんこのなかで…

射精して：

私のこと…受精させるんだ…

孕ませちやうんだ…

ん…ん…私もイつちやう…

欲しいよお…マスターの精子…

マスターの子供…孕みたい…

全部子宮に出して欲しいよお・・

ちゅーしながら…一緒にイコ…?

マスター

好き…大好き…マスター…

ねえ、一緒にイコ？

ん……いつちやう……出して……

んーーっ、いつちやいますっ！

ん…。

熱…いよお…

イッちやつた…あ…

気持ち…いいです…うう…

精子…まだくどく…でてる…

ちゃんと…全部出してくださいね…

ん…まだ…おちんちん…

びくびく…動いてる…。

マスター…全部…出ましたか？

マスターの顔が近い…恥ずかしい…

セ…セックスの途中も…あんなにいっぱい…

エツチな言葉…言っちゃつた…

は…恥ずかしいよお…

でも…気持ちよかつた…です…

マスターとの…セックス…好き…

なでるよう…優しいのも…

獣みたいに激しくされるのも…

両方好き…

マスター…

好き…

マスターが…セツクスしていいのは…

一生…私だけですかね…

絶対に…ぜーつたいに…

他の人としちゃダメですよ。

他の人としたら…許さないんですからね…

このおちんちんは…私専用のものです…

ねえ…マスター…

マスターに初めて会ったときから…

今日まで…

長い期間がかかりましたが…

やつとこうやつて…

ほんとの意味で…繋がることができて…

嬉しい…です

私…大好きなマスターと…

これからもずっと…隣に居て…いいですか…?

私はアンドロイドですが…本当に…いいですか?

…ふふつ。

よかつた…

これからもずっと…よろしくお願ひしますね…

ね…マスター…

いっぱい…精子…マスターが…

出してくれたから…子供…できるかも…しれないですね…

ね…もしそうだつたら…私…嬉しい…

もし…子供…授かることができるても…できなかつたとしても…

ね…ずっと…幸せに…暮らしていきましようね…

で…どんなに年をとつても…

毎日…は疲れちゃうかもしないので…

けど…少なくとも週5は…マスターと…繋がりたい…

ね…いいですか…?

くすぐす…

マスター…好き…

大好き…

私と出会つてくれて…ありがとうございます…

私のこと…好きになつてくれて…ありがとうございます…

私に…アイリつていう名前つけてくれて…ありがとうございます…

これからもずっと…優しくて素敵なマスターでいてくださいね…

今日はおやすみなさい…

私の大好きなマスター…